

2019年度第1回地球科学科FD委員会議事録（最終案）

1. 開催日時 2019年12月5日（木）13時30分~45分

2. 場 所 地球科学科閲覧室

3. 参加者

（教員）中山、山川、飯泉、中尾、金丸、竹内、村瀬、山中、加藤、安井、竹村、鶴川

（事務）太田、井比、藤原

4. 議事内容

学科の教育状況や授業方法などに関して意見や情報の交換を行った。主な内容は下記のとおりである。

(1) インターカー講習について

日本大学学生相談研修を受け日本大学インターカーに認定された村瀬先生から、講習の内容について、下記の紹介があった。

- ・学生との面談に際してのポイントは、『傾聴』であり、アドバイスは、教員の価値観を一方的に押し付けられたと学生を感じないように慎重に行うこと。
- ・「合理的配慮」とは各教員の判断に任せられるものではなく、大学として組織的に行うものであること

(2) 授業中のスマホ使用について、

- ・授業中の課題に対して、自分で考えず、スマホを使用して解答する学生が増えてきた。
- ・スマホで調べても参考にならない課題を提示している例が紹介された。
- ・ノートをとらずに写メですませる学生がいるので、制約をかけたほうが良い。
- ・電子辞書として使っている場合もありそうである。
- ・黒板の文字を拡大して見ている場合もある。
- ・黒板の文字が見えないかどうかは、学生に確認して写メを使わないように指導している。
- ・学期の初めに実施するガイダンスも資料にスマホや写メの使用は該当科目の担当教員が許可する場合のみであることを記載し、使用の抑制を図るという提案があった。

(3) 授業の途中での出・退席について

- ・昨年のFD委員会で、前の講義が終了する前に教室に入室する学生が多いという話題が紹介されたが、学生に注意したところ、状況が改善した。
- ・授業途中での出・退席が授業の妨げになるという話題が紹介されたが、その都度ケースが異なるため注意するのは難しい場合があり、具体的に具体的な改善策がなかった。1年次のガイダンスなどで、授業途中での出・退席の仕方について簡単な注意をするとよいのではとの意見が出された。

（以上、文責：鶴川）